

2012 年 7 月 2 日

アステラス製薬：就学前児童の住血吸虫症感染症治療薬の開発に関する 新たな官民パートナーシップに参画

TI Pharma、Merck KGaA（ダルムシュタット、ドイツ）、アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下、「アステラス製薬」）、ならびに Swiss Tropical and Public Health Institute（以下、「Swiss TPH」）は、国際的な官民パートナーシップ（以下、「PPP」）を新たに創設し、就学前児童における住血吸虫症（別名：ビルハルツ住血吸虫症）に有効な新しいプラジカンテル小児用製剤の開発に乗り出しました。住血吸虫症は寄生虫を原因とする慢性疾患です。世界では、安全な飲料水や適切な衛生状態の確保が困難な発展途上国を中心として、2 億人以上の人びとが住血吸虫症に感染し、治療を必要としています。現在の治療は、成人と学齢児童に焦点が当てられていますが、就学前児童もまた多く感染しています。寄生虫症は、適切な治療を受けない場合、貧血や成長阻害、学習能力の減退などを伴う重い病的状態につながり、命にかかわることもあります。この疾患はサハラ砂漠以南のアフリカ地域では、影響力の観点から見ると、マラリアに次ぐ深刻な寄生虫症となっています。

現在、住血吸虫症に罹患した乳幼児および低年齢の児童には、適切な治療が行われていません。標準的なプラジカンテルによる治療は、成人および 6 歳以上の児童を対象とした経口の錠剤のみです。更にこれより年齢の低い児童は、錠剤の大きさや有効成分の苦味のため、この錠剤を服用できないことがあります。小児用製剤は、最も脆弱な年齢層に対する適切な治療法を開発するために強く求められており、このことが住血吸虫症に対する初めての国際的な PPP が創設されるきっかけとなりました。このパートナーシップの目的は、低年齢の児童に適したプラジカンテル製剤の開発です。

TI Pharma をコーディネーターとする、この新たに作られたコンソーシアムに参加するパートナーは、Merck、アステラス製薬、Swiss TPH です。Merck Serono のドラッグ・ディベロップメント・アンド・メディカル部長で、Merck の生物医薬品部に所属し、コンソーシアムの会長にも指名されているアンナリーザ・ジェンキンス博士は、「この PPP のパートナーは皆、低年齢の児童の住血吸虫症に対してこの切望される治療をもたらすことに力を注ぎます。このコンソーシアムに注ぎ込まれる資源と専門知識は、最終的に科学および医療の革新を支え、次世代の治療の開発に貢献します。」と述べています。

Merck は、このプロジェクトに大きな貢献をします。Merck は、成人用のプラジカンテルの錠剤を開発および製造しており、自社の寄付プログラムを通じ、アフリカにおける住血吸虫症との闘いに、世界保健機構 (WHO) とともに既に参加しています。Merck は、この小児製剤開発プロジェクトを立ち上げ、自社製品と薬剤開発のノウハウを持ち寄ることで、この取り組みを強化します。

アステラス製薬は、服用時の利便性と機能性を向上させる同社の画期的な製剤技術を応用することにより、苦みを取り除いた初のプラジカンテル小児用製剤の開発に貢献します。

Swiss TPH は、執行パートナーのひとつとして、その広範な経験を生かして、寄生蠕虫の生物学的及び薬理学的な研究と、資源の乏しい環境にある流行地域での薬剤の有用性と有効性に関する臨床研究に貢献します。

オランダの非営利組織である TI Pharma は、この新規のプロジェクトのガバナンスを促進する独立パートナーです。TI Pharma は、その他の顧みられない熱帯病に関する広範なプログラム (euSEND) を有しています。

新しい小児用量の望ましいプロファイルを定義するための住血吸虫症の専門家会議が、先日ジュネーブで開催されました。コンソーシアム・チームは執行面および財政面でのギャップがあることから住血吸虫症との闘いに参加する新たなパートナーと追加資金の呼びかけを行ってます。

すべてのパートナーは、生後 3 ヶ月で感染した乳児を含む極めて低年齢の児童における住血吸虫症治療の必要性を呼びかけることに高い意義を感じています。新しいプラジカンテル小児用量は、この顧みられない熱帯病のさらなる抑制と将来的な制圧に重要な貢献を果たすことが期待されます。

以上

###

アステラス製薬について

アステラス製薬は、東京に本社を置く、先端・信頼の医薬で世界の人々の健康に貢献する製薬企業です。アステラス製薬は、世界で約 1 万 7 千名の従業員を有しています。当社は泌尿器疾患、免疫疾患（移植を含む）、感染症、がん、精神・神経疾患、糖尿病合併症および腎疾患の領域におけるグローバル・カテゴリー・リーダーを目指していきます。

アステラス製薬は、パートナーシップを通じたさまざまな支援活動を行い、発展途上国における Access to Health（保健医療へのアクセス問題）の改善に取り組んでいます。

アステラス製薬の製剤研究所は、これまでに可溶化技術、徐放化技術、口腔内崩壊錠技術、薬物送達技術などの卓越した製剤技術を駆使して、新しい製剤を開発し、付加価値を高め、治療の利便性・機能性向上に貢献してきました。更に詳細な情報についてはウェブサイトをご参照ください。 www.astellas.com/en.

Merck KGaA について

Merckは、2011年の総収入が103億ユーロにのぼる、グローバルな医薬品・化学品企業です。その起源は1668年に遡り、現在では67ヶ国で4万人以上の従業員から成ります。同社の成功は、起業家精神に富んだ社員によるイノベーションを特徴としています。Merckの事業は、Merck KGaAの傘下で運営されており、株式の約70%はMerck一族が所有し、残りの30%を他の株主が所有しています。1917年に米国法人であるMerck & Co.が接収され、以降独立した法人となっています。更に詳細な情報についてはウェブサイトをご参照ください。 www.merckgroup.com

Swiss TPH について

Swiss TPHは、パーゼル大学の関連研究機関です。私たちの目標は、卓越した研究、サービス、教育、および訓練を通じた国際、国内および地域レベルの公衆衛生の向上に貢献することです。この目標の達成に向けた戦略は、研究室、現場、教室、そして病室の間の継続的な反復プロセスへの多分野にわたる広範なアプローチに基づくものです。私たちは、技術革新（開発コンセプト、方法、製品）、検証（有効なものに関するエビデンスの提供）、応用（公衆衛生システムおよび政策の強化）をつなぐことを目指しています。58ヶ国から集まった500名以上のスタッフが、2つの研究部門と3つのサービス部門に組織されています。更に詳細な情報についてはウェブサイトをご参照ください。 www.swisstph.ch

Top Institute Pharmaについて

Top Institute Pharma (TI Pharma) は、国際的なパブリック・プライベート・パートナーシップの設立および運営によって、医薬品の研究および開発を実現する非営利団体です。開かれた技術革新モデルの中で研究者、ビジネス領域、患者団体が協働し、社会的に価値のある医薬品の開発の向上を目的とした、革新的かつ多分野を統合した研究を行っています。更に詳細な情報についてはウェブサイトをご参照ください。 www.tipharma.com

以 上

お問い合わせ先
アステラス製薬株式会社 広報部 TEL:03-3244-3201 HP: http://www.astellas.com/jp